SONY

4-562-021-**04**(1)

パーソナルオーディオシステム

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

©2014 Sony Corporation　Printed in China

*4562021*04* (1)

ZS-S40

保証書　持込修理

品名	パーソナルオーディオシステム
型名	ZS-S40
お買上げ日	年　月　日

本書は、本書記載内容（下記記載）で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、お客様側にご記入の上、修理をお申付けください。

ソニー特約店

お問合せ先：修理相談窓口
フリーダイヤル 0120-222-330（IP電話からは：050-3754-9599）
ホームページ：https://www.sony.jp/support/
ソニーマーケティング株式会社 東京都港区港南1-7-1 〒108-0075

保証期間	お買上げの日から	1年
お客様住所	電話	-
お名前		- 様

無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品（ハードウェア）が故障した場合は、当社指定サービス拠点に製品をご持参ください。ご持参が困難な場合は、対応の種別（出張修理、持込修理、引取修理）をご確認の上、以下の期間でご依頼および本書（保証書）を添えて、大切にご送付ください。なお、ご送付の際、ご住所、お名前、ご連絡先、故障内容（お差し支えのない範囲）および本書（保証書）に記載の修理相談窓口の3種類です。

種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項
出張修理（1）(2)	当社指定サービス拠点	必要に応じて提示	※1
持込修理（2）	当社指定サービス拠点	提出	※2
引取修理（3）	製品の引取時に指定業者へ提出	提出	※1

※1 梱包及び梱包に要する諸経費への出張修理となる場合、出張費用は有料となります。
※2 (1)(2)への依頼が難しい場合は、(3)にご相談ください。

2. お客様のご要望により出張修理の種別について引取修理を、持込修理を行う場合は、別途所定の料金をお申し受けます。
3. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。
(1) 本書の提示がない場合 (2) 本書に購入日・お客様ご住所・ご連絡先・故障内容・ご住所・お名前の記入がない場合 (3) 本書に記入日付が保証期間中を過ぎた場合 (4) 用法上の誤り取扱説明書・お客様ご使用上の注意書などに従った正常な使用をしなかった場合 (5) 当社以外の機器との接続・組合せによる故障・損傷 (6) 当社以外による修理・改造による故障・損傷 (7) 輸送・運搬・落下などによる故障・損傷 (8) 火災・地震・風水害・落雷その他の天災地変・公害・塩害・ガス害（腐食性ガスなど）による故障・損傷 (9) 一般家庭以外（業務用など）で長時間または過度の使用による故障・損傷 (10) 消耗品の交換による故障
4. 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。
5. 修理ご依頼の際、保証書を提示・提出されない場合や、本書に記入された内容が不鮮明な場合、または、保証期間を過ぎた場合には、修理ご依頼をお受けいたしかねる場合がありますのでご了承ください。
6. 本書は、国内（日本国内）で有効です。海外でのご使用・ご滞在の場合の修理・サービスについては、当社指定サービス拠点にお問合せください。
7. 故障によりお買上げの製品を使用できなかったことによる損害については、当社は責任を負いかねますのご了承ください。
8. 当社は、本書に記載された期間内に故障した製品の場合、故障の際または修理・交換によって記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしかねます。
9. 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メモ

＊本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。　TO2-5
＊補足説明書の修理については、取扱説明書をご覧ください。

型名：ZS-S40

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **https://www.sony.jp/support/**

使い方相談窓口
フリーダイヤル……0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥050-3754-9577

修理相談窓口
フリーダイヤル……0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥050-3754-9599
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通)0120-333-389

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「304」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

製品登録のおすすめ
ソニーは、製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、製品登録をお願いしております。詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。

◆パソコン・スマートフォンから
https://www.sony.co.jp/radio-regi/

二次元コードでスマートフォンからアクセス

製品のご登録についてのお問い合わせ
ソニーマーケティング（株）
My Sony Club お客様窓口
電話：フリーダイヤル 0120-735-106
携帯電話・PHS・一部のIP電話：050-3754-9639

困ったときは

電源　電源が入らない

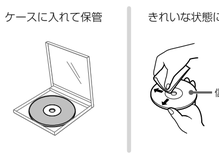
家庭用電源を使うとき

乾電池を使うとき

CD　CDが再生できない、ノイズが入る

再生できない原因

CDの取り扱いかた、お手入れのしかた



やわらかい布で、信号面を外周に向かって軽く拭く。汚れがひどいときは、水で少し湿らせて拭いたあと、乾いた布で水気を拭き取る。

ラジオ　FMアンテナの調整方法

長さの調整

一番太い部分と先端を持って伸ばす。

向きの調整

一番太い部分と先端を持って回転。

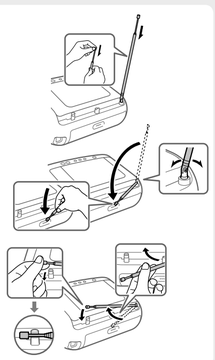
先端部を持ったり過剰な力を加えてFMアンテナを傾けたり回転させると、破損する場合があります。

収納するとき

1 FMアンテナをゆっくり縮める。
すばやく押し下げると、縮める際にアンテナが斜めになるなどして、途中で曲がったり、根元で折れたりする恐れがあります。

2 アンテナの付け根を見て、軽い力で倒せる方向を確認し、傾ける。
不適切な方向に無理にアンテナを倒すと破損する恐れがあります。

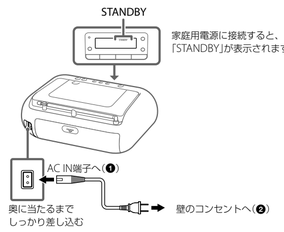
3 傾けた状態でアンテナ留めの上部まで回し、先端付近を上から押してアンテナ留めにはめる。



準備をする

家庭用電源を使うとき

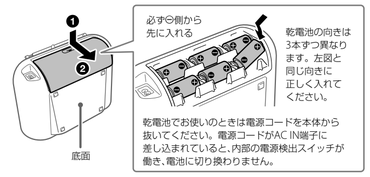
付属の電源コードを本機のAC IN端子へ差し込んだあと(❶)、壁のコンセントへ差し込んでください(❷)。



ちょっと一言
- 「STANDBY」が表示されている状態では、本機の電源は入っていません。

乾電池を使うとき

電池ぶたを押しながら(❶)ずらして(❷)外したあと、単2形アルカリ乾電池6本(別売)を入れてください。



ご注意
- 乾電池を出し入れするときは、本体やCDなどが傷つくのを防ぐために、次のことを必ず守ってください。
  – 電源コードを抜く。
  – CDを取り出す。
  – FMアンテナを元の位置に戻す。
- 電池には使用期限があります。使用期限の切れた電池は使わないでください。

電源を入れる

電源ボタンを押して電源を入れてください。
電源／電池ランプが点灯します。

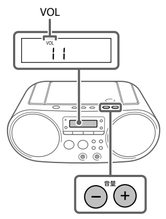
電源を切るには

電源ボタンを押す。電源／電池ランプが消灯します。

ご注意
- 乾電池のみで使用中、電源／電池ランプが暗くなったり、消えたら電池の寿命です。すべて新しい電池に交換してください。

音量を調節する

音量+または–ボタンを押して、音量を調節する。



ちょっと一言
- 音量+ボタンには凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。
- 音量は最小(VOL 0)から最大(VOL 31)まで画面に表示されます。

CDを聞く

次のCDを再生できます
- 市販のCD（音楽、語学など）
- CD-R/CD-RW（CD-DA/MP3/WMA）

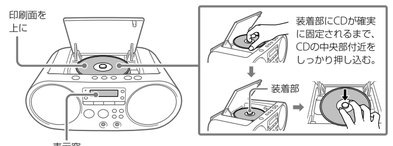
DVD、BD（ブルーレイディスク）は再生できません。

1 CDボタンを押す。

CD機能になります。

2 開／閉⏏部を押してCDぶたを開ける。

3 CDを入れ、CDぶたを閉める。



CDの読み込みが始まると、表示窓に「READ」が点滅します。

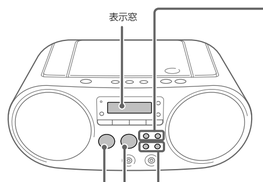
ちょっと一言
- CDの読み込み時に「キュルキュル」と音がする場合がありますが、故障ではありません。

4 ▶II（CD再生／一時停止）ボタンを押す。

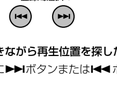
再生が始まります。

ご注意
- CD再生中はCDぶたを開けないでください。
- ▶II（CD再生/一時停止）ボタンには凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

再生／選曲についてのその他の基本操作



曲送り／曲戻ししたいとき
▶▶Iボタン(次の曲)または I◀◀ ボタン(曲の先頭へ戻す)を短く押す。



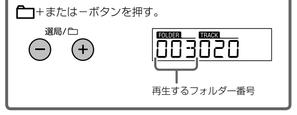
曲を聞きながら再生位置を探したいとき
再生中に▶▶Iボタンまたは I◀◀ ボタンを押し続け、聞きたい部分で指を離す。

表示窓の再生時間を見ながら再生位置を探したいとき
再生中または一時停止中に▶▶Iボタンまたは I◀◀ ボタンを押し続け、聞きたい部分で指を離す。

再生を一時停止したいとき
▶II（CD再生／一時停止）ボタンを押す。
もう一度押すと再生が始まります。

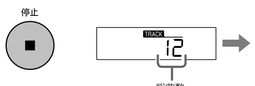
再生を止めたいとき
■（停止）ボタンを押す。

データCD（MP3/WMA)のフォルダーを選択したいとき
🗀＋または－ボタンを押す。

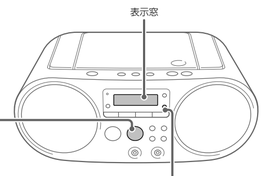


表示窓の情報切り換え操作

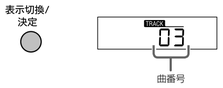
音楽CDの収録曲数や再生時間を調べたいとき
再生中には2回、停止中には1回、■（停止）ボタンを押す。



データCD（MP3/WMA)のフォルダー数や曲数を調べたいとき
再生中には2回、停止中には1回、
■（停止）ボタンを押す。



再生している曲の曲番号を調べたいとき
表示切換ボタンを押す。



音楽CDの停止中の表示を切り換えたいとき
総再生時間表示のときに表示切換ボタンを押す。
曲番号を2秒表示したあと、経過時間表示に戻ります。

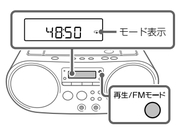
ちょっと一言
- ■（停止）ボタンで再生を停止し、次に▶II（CD再生／一時停止）ボタンを押すと、前回再生を停止した位置の続きから再生されます。停止したあと、もう一度■（停止）ボタンを押すと、次回は1曲目の始めから再生されます。

CD　再生モードを切り換えて聞く

繰り返し聞く（リピート再生）

CDに収録されている曲を1曲または全曲繰り返して聞くことができます。

1 停止中に再生モードボタンを押して、リピートの種類を設定する。



押すたびにモード表示が切り換わります。
→1→ →*1*2→ →*1→ →PGM→
表示なし(通常再生) ←PGM←

リピートの種類	説明
1	1曲だけ繰り返します。▶▶IまたはI◀◀ ボタンを押して、曲番号を選んでください。
	全曲を繰り返します。
*1	データCD（MP3/WMA)の場合、データCD上のフォルダーを指定し、フォルダー内の全曲を繰り返して再生します。🗀＋または－ボタンを押して、フォルダーを選んでください。
PGM	プログラム登録した曲を繰り返します。詳しくは「聞きたい曲を好きな順に聞く」をご覧ください。

＊1　CD-DAには対応していません。
＊2　指定したフォルダー内の全曲を再生します。

2 ▶II（CD再生／一時停止）ボタンを押す。

リピート再生が始まります。

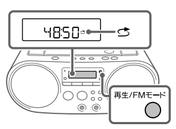
リピート再生をやめるには
停止中に「1」の表示が消えるまで、再生モードボタンを繰り返し押す。

ご注意
- 再生中または一時停止中にリピート再生の設定はできません。

順不同に聞く（シャッフル再生）

CDに収録されている全曲を順不同に聞くことができます。

1 停止中に再生モードボタンを押して、「（シャッフル再生）」を表示させる。



押すたびにモード表示が切り換わります。
→1→ →→ →→ →PGM→
表示なし(通常再生) ←PGM←
＊ CD-DAでは表示されません。

2 ▶II（CD再生／一時停止）ボタンを押す。

シャッフル再生が始まります。

シャッフル再生をやめるには
停止中に の表示が消えるまで、再生モードボタンを繰り返し押す。

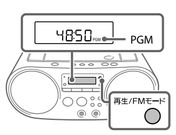
ご注意
- 再生中または一時停止中にシャッフル再生の設定はできません。

ちょっと一言
- シャッフル再生のときは、一度再生を停止し、次に▶II（CD再生／一時停止)ボタンを押しても、停止したところから再生を再開することはできません。

聞きたい曲を好きな順に聞く（プログラム再生）

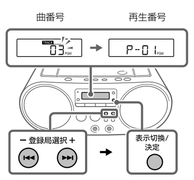
聞きたい曲を聞きたい順に25曲までプログラム登録することができます。

1 停止中に再生モードボタンを押して、「PGM（プログラム再生)」を表示させる。



押すたびにモード表示が切り換わります。
→1→ →*→ →→ →PGM→
表示なし(通常再生) ←PGM←
＊ CD-DAでは表示されません。

2 ▶▶IまたはI◀◀ ボタンを押して曲を選び、決定ボタンを押す。



引き続き曲を登録する場合は、同じ操作を繰り返します。

3 ▶II（CD再生／一時停止）ボタンを押す。

プログラム再生が始まります。

プログラム再生をやめるには
停止中に「PGM」の表示が消えるまで、再生モードボタンを繰り返し押す。

プログラム再生を繰り返すには（プログラムリピート再生）
停止中に再生モードボタンを1回押し、「PGM」と「1」を表示させる。

プログラムを削除するには
再生前の停止状態のときには1回、再生中の場合には2回、■（停止）ボタンを押す。
そのとき登録されていたプログラムの内容が消えます。

プログラムの登録情報を確認するには
停止中に表示切換ボタンを押す。押すたびに、最後に登録した曲の曲番号と登録されている曲数が交互に表示されます。

最後に登録した曲の曲番号（音楽CDの場合）　登録されている曲数

現在のプログラムの最後に新たに曲番号を追加するには
停止中に▶▶IまたはI◀◀ ボタンを押して曲番号を選び、決定ボタンを押す。

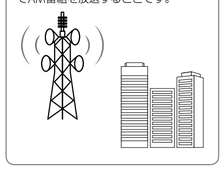
ご注意
- 再生中または一時停止中にプログラム再生の設定はできません。
- CDぶたを開けると、そのとき登録されていたプログラムの内容は消えます。

ちょっと一言
- プログラム再生が終わっても、登録したプログラムは残っています。▶II（CD再生／一時停止)ボタンを押すと、同じプログラムをもう一度聞くことができます。
- プログラム再生とプログラムリピート再生を切り換えてもプログラムは同じです。どちらのときもプログラムを登録できます。
- 26曲目を選ぼうとすると、「FULL」が表示されて登録できません。

ラジオを聞く

ワイドFMについて

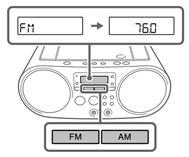
本機は、ワイドFM（FM補完放送）に対応しています。ワイドFM放送とは、AM（中波）放送局の放送エリアにおいて、難受信対策や災害対策のために従来のFM放送用の周波数（76MHz ～ 90MHz）に加えて、新たに割り当てられた周波数（90.1MHz ～ 95MHz）を用いてAM番組を放送することです。



1 FMアンテナを立てて伸ばす（FM放送を受信する場合のみ）。

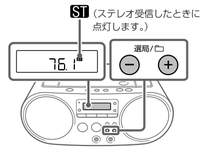
AM放送を受信する場合は、FMアンテナを立てる必要はありません。AM受信用のアンテナは本体に内蔵されています。

2 FMボタンまたはAMボタンを押す。



FMまたはAMに続いて周波数が表示されます。
周波数は、FMがMHz、AMがkHzで表示されます。

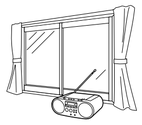
3 選局＋または－ボタンを押して、周波数を合わせる。



選局＋または－ボタンを押したままにして、数字が動き始めたら指を離します。受信可能な放送局が見つかると、自動的に周波数の数字が止まります。
選局＋または－ボタンを繰り返し押して、聞きたい局の周波数に合わせることもできます。

受信状態を良くするには

窓際など、電波を受信しやすい場所でお使いください。
また、受信したい放送に合わせてアンテナを調整してください。



次のような場所では受信状態が悪くなることがあります。

FM放送のとき

- **アンテナの水平方向の調整**

FMアンテナの水平方向を調整する。
本体にぶつからない程度にアンテナを傾けた状態で回転させてください。
アンテナを立てたまま回転しようとすると、アンテナを破損する恐れがあります。

- **アンテナの長さ、角度の調整**

FMアンテナを伸ばし、長さと垂直方向の角度を調整する。

AM放送のとき

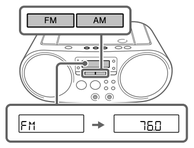
本体を最も受信状態の良い方向へ向ける。
（AMのアンテナは本体に内蔵されています。）

ラジオ 放送局の自動登録機能を使う

放送局を登録する

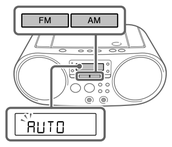
本機が検索して受信状態の良い放送局を自動的に登録します。FMとAMのそれぞれについて手順1から3を行ってください。FM:20局、AM:10局で、合計30局まで登録できます。

1 FMボタンまたはAMボタンを押す。



FMまたはAMに続いて周波数が表示されます。

2 「AUTO」が点滅するまで、手順1で選択したボタンを押したままにする。



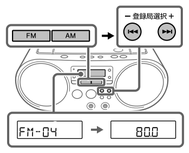
3 決定ボタンを押して登録を開始する。

登録局番号の1番から順に、周波数の低い局から高い局へ受信状態の良い局を自動的に登録します。
もう一度、登録局番号FM-01またはAM-01が表示されると完了です。

登録された放送局を聞く

登録局番号を選ぶだけで放送を聞くことができます。

FMまたはAMを選んでから、登録局選択＋または－ボタンを押して、聞きたい局の登録局番号を選ぶ。



登録局番号に続いて周波数が表示されます。

放送局を手動で登録するには

電波が弱く自動登録されなかった放送局があるときや、特定の登録局番号を使いたいときは、手動で放送局を登録することができます。登録済みの登録局番号を選んだ場合は、登録していた放送局は新しい放送局に置き換わります。

1 登録したい放送局を受信する。
2 登録局番号が点滅するまで、決定ボタンを押したままにする。
3 使用したい登録局番号が点滅するまで、登録局選択＋または－ボタンを繰り返し押す。
4 決定ボタンを押す。

ちょっと一言

- 登録した放送局は、電源コードを抜いたり、乾電池を取り出したりしても保持されます。

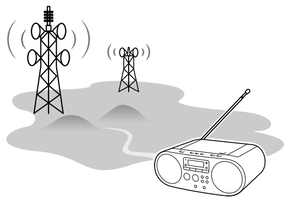
ラジオ 「お気に入りラジオ局」ボタンを使う

よく聞く放送局を「お気に入りラジオ局」ボタンに登録する

よく聞く放送局を登録しておくと、ボタンを押すだけで登録した放送局を聞くことができます。FM、AMあわせて3局まで登録できます。

1 登録したい放送局を受信する。

「ラジオを聞く」の手順1 ～ 3をご覧ください。



2 「ピー」と音がするまで、①、②、③のいずれかの「お気に入りラジオ局」ボタンを押したままにする。

（例）ボタン①に登録する場合

「ピー」の音とともに表示窓に「お気に入りラジオ局」ボタンの数字が点灯し、登録が完了します。

登録した放送局を聞く

「お気に入りラジオ局」ボタンを使うと、電源を切った状態からでもすぐにラジオを聞くことができます。

「お気に入りラジオ局」ボタンを押して、すぐ指を離す。

放送局を受信します。表示窓には選んだ「お気に入りラジオ局」ボタンの数字と、周波数が表示されます。

ご注意

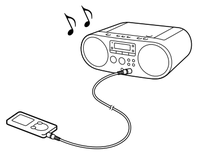
- 「お気に入りラジオ局」ボタンを押して登録した放送局を聞くときは、ボタンを2秒以上押さないでください。2秒以上押すと、登録していた放送局は、現在受信中の放送局に置き換わります。

登録済みのボタンに別の放送局を登録するには

手順1 ～ 2を繰り返す。
新しい放送局を登録すると、同じボタンに登録されていた前の局は消えます。

外部機器をつないで聞く

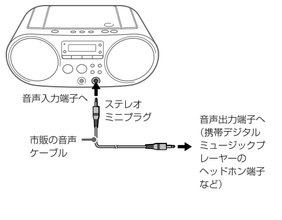
デジタルミュージックプレーヤーなどの外部機器を本機の音声入力端子につないで、スピーカーから流れる音を楽しむことができます。



ご注意

- 本機から大きな音が出るのを防ぐため、あらかじめ外部機器と本機両方の音量を下げておいてください。

1 外部機器を本体前面の音声入力端子につなぐ。



2 音声入力ボタンを押す。

「AU IN」が表示されます。

3 つないだ機器で再生を始める。

再生について詳しくは、つないだ機器の取扱説明書をご覧ください。

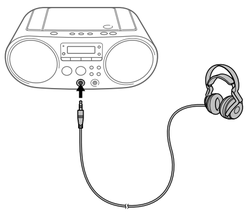
ご注意

- 接続した外部機器の出力端子がモノラルジャックの場合は、本機の右側スピーカーから音が出ない場合があります。
- 接続した外部機器の出力端子がラインアウト端子の場合は、ひずみが発生する場合があります。音がひずんだ場合は、外部機器のヘッドホン端子につないでください。
- 接続した外部機器の音量が高すぎる場合、音が割れたり、ひずんだりすることがあります。その場合には、外部機器側で音量を下げ、適度な音量で聞いてください。
- 抵抗入りの音声ケーブル（ステレオミニ）を使用すると音量が小さくなることがありますので、抵抗なしの音声ケーブル（ステレオミニ）をご使用ください。

ヘッドホンをつないで聞く

ヘッドホン（別売）でCDやラジオ、外部機器の音源を聞くことができます。
スピーカーからは音が出なくなります。

ヘッドホン（別売）を🎧（ヘッドホン）端子につなぐ。



ご注意

- 音量を調節して、耳を刺激しないように適度な音量で聞いてください。

おやすみタイマーを使う

設定した時間が経過すると、自動的に本体の電源が切れます。

おやすみタイマーボタンを押して、時間（分）を設定する。

押すたびに設定する時間（分）が切り換わります。

→90→60→30→15→OFF→

操作しない時間が約4秒経つと、タイマーが開始します。タイマーを使わないときはOFFを選んでください。

電源が切れるまでの時間を確認するには

タイマー開始後におやすみタイマーボタンを1回押す。

再生できるディスク

ディスクを再生するときは、ディスクの種類を確認し、本機が対応するディスクをご利用ください。

ディスクの種類	曲／ファイルのフォーマット	対応
CD、CD-R/CD-RW*1*3	CD-DA*2	○
CD-R/CD-RW*1*3	MP3	○
	WMA	○
	AAC	×
SA-CD（スーパーオーディオCD）	CD層	○
	SA-CD層	×
DVD		×
BD（ブルーレイディスク）		×

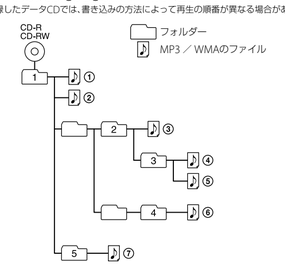
*1 音楽CD（CD-DAフォーマット）の規格に準拠していない形式で記録されたCD-R/CD-RW、ISO9660Level 1/Level 2またはJolietのフォーマットに準拠しないCD-R/CD-RWは再生できません。
*2 CD-DAはCompact Disc Digital Audioの略で、一般の音楽CDに使用されている、音楽収録用の規格です。
*3 ファイナライズ処理が必要です。

ご注意

- 本機では円形のCDのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたCDを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- 8 cm CDは、周囲の環境や使用状況により再生できない場合があります。
- 本機はCD再生専用です。CD-R/CD-RWに録音はできません。
- CD-R/CD-RWの再生では、お使いになったディスクの品質や記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。

MP3/WMAファイルの再生の順番について

下記のデータCDの例では、①から⑧の順にファイルが再生されます。MP3ファイルやWMAファイルを記録したデータCDでは、書き込みの方法によって再生の順番が異なる場合があります。



データCD（MP3/WMA）についてのご注意

- データCDや記録に使用したレコーダーの状態によっては、再生が始まるまでに時間がかかったり、再生されない場合もあります。
- 本機は、データCD上のフォルダーを最大256個まで（ROOTを含む）、ファイルを最大999個まで認識します。
- 本機が認識可能な最大階層レベル（フォルダーレベル）は、8階層までです。
- MP3ファイルやWMAファイルがないフォルダーはとばして再生されます。
- MP3ファイルには「.mp3」、WMAファイルには「.wma」の拡張子を付けてください。ただし、MP3/WMA以外のフォーマットのファイルに「.mp3」または「.wma」の拡張子を付けても、そのファイルは正しく認識されません。
- WMA DRM/WMA Lossless/WMA PRO形式で作成されたWMAファイルは再生できません。

安全のために

機器を本箱や組み立て式キャビネットのような通気が妨げられる狭いところに設置しないでください。

火災や感電の危険をさけるために、本機を水のかかる場所や湿気のある場所で使用しないでください。

本機は容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。通常、本機の電源ボタンを押して電源を切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

本機の上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火災源を置かないでください。

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しないでください。引火のおそれがあります。

火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中・照明器具の下など、高温の場所で使用・保管・放置しないでください。

本機に新聞紙、テーブルクロス、カーテン、布などをかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災の原因となることがあります。

付属の電源コードセットは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

電池は、直射日光、火などの過度な熱にさらさないでください。

電池を火のそばや直射日光のあたるところなど、高温の場所で使用、保管、放置しないでください。破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

機銘板は本機の底面に表示されています。

ご注意

- この装置に対し光学機器を使用すると、目の危険を増やすことになります。

レーザーの仕様

- 放射時間：連続
- レーザー出力：44.6μW 未満

この出力値は、7mm の開口部にて光学ピックアップブロックの対物レンズ面より 200mm の距離で測定したものです。

使用上のご注意

置き場所について

本機やCDなどを次のような場所には置かないでください。

- 磁石やスピーカーのすぐそばなど、磁気を帯びたところ
- テレビの近く
- 窓を閉め切った自動車内（特に夏期）

取り扱いについて

- CDぶたを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーには強力な磁石が使われていますので、次のようなものは本機のそばに置かないでください。
  - 時計
  - クレジットカードなどの磁気カード
  - カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ

ヘッドホン（別売）使用時について

- 音量を調節して、耳を刺激しないように適度な音量で聞いてください。

商標

- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- Windows Mediaは米国および／またはその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。
- 本製品にはMicrosoftの知的財産権の対象である技術が含まれています。
  Microsoftから使用許諾を得ることなく、この技術を本製品以外で使用または頒布することは禁じられています。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

保証書とアフターサービス

保証書

● 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
● 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう一度ご覧になったり、サポートページ（「サポートページのご案内」（うら面）参照）の情報も参考にしてください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店またはソニーの相談窓口（おもて面参照）にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルオーディオシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

主な仕様

CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル
ワウ・フラッター	測定限界以下（JEITA*1）
周波数特性	20 Hz ～ 20,000 Hz +1/−2 dB（JEITA*1）
対応ファイルフォーマット	MP3（MPEG 1 Audio Layer-3） ビットレート：32 kbps ～ 320 kbps, VBR サンプリング周波数：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz WMA ビットレート：48 kbps ～ 192 kbps, VBR サンプリング周波数：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz

ラジオ部

受信周波数	FM: 76.0 MHz ～ 108.0 MHz AM: 531 kHz ～ 1,710 kHz
アンテナ	FM: ロッドアンテナ AM: フェライトバーアンテナ内蔵

共通部

スピーカー	フルレンジ：8 cm、コーン型6 Ω、2個
入力端子	音声入力（ステレオミニジャック）1個
出力端子	ヘッドホン（ステレオミニジャック）1個 負荷インピーダンス 16 Ω ～ 32 Ω
実用最大出力	2.0 W ＋ 2.0 W（JEITA*1/6 Ω）
電源	本体用 家庭用電源（AC100 V 50 Hz/60 Hz） 単2形乾電池6本使用（DC 9 V）（別売）
消費電力	13 W
電池持続時間*2	約0.9 W（電源オフ時） CD再生時（JEITA*1） 約9時間（音量26程度） FM受信時 約26時間
最大外形寸法	約300 mm × 125 mm × 210.5 mm （幅 × 高さ × 奥行き） （最大突起部含む）
質量	本体　約1.7 kg ご使用時　約2.0 kg（乾電池、CD含む）
付属品	電源コード（1）、安全のために（1）、取扱説明書・保証書（1）

*1 JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。
*2 ソニー単2形（LR14）アルカリ乾電池使用時。周囲の温度や使用状況、電池のメーカーや種類により、上記の電池持続時間と異なることがあります。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

故障かな？と思ったら

本機が正しく動作しないときは、下記の項目をチェックしてください。
それでも正しく動作しないときは、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

共 通

乾電池を入れたのに電源が入らない。

- 乾電池の向きが正しいことと、電源コードが本機から抜かれていることを確認してください。
- 電源ランプが暗くなっているか消えている場合は、すべての乾電池を新しいものと交換してください。
- 買い置きしたまま長時間放置した乾電池を入れた場合、消耗している可能性があります。販売店で新しい電池を購入して交換してみてください。（乾電池は未開封でも時間とともに消耗していきます。消耗する早さは、乾電池の保管場所の温度などによって異なります。）
- 乾電池アダプターはお使いになれません。アダプターの端子が接触しない場合があります。また単3以下の乾電池は電流容量が単2形乾電池に比べて小さく、本機の動作に必要な電流を供給できません。
- 充電池はお使いになれません。充電池は乾電池に比べて定格電圧が低く、本機の動作に必要な電圧を確保できません。

電池の消耗が早い。

- 本機をマンガン乾電池でお使いの場合、使用時間が著しく短くなることがあります。乾電池で使う場合は、アルカリ乾電池をお使いください。

音が出ない。

- 音量を調節してください。
- ヘッドホンを🎧（ヘッドホン）端子から抜いてください。

本体から「ブーン」と小さいノイズ音がする。

- 電源の状況により本体から「ブーン」と小さいノイズ音がする場合がありますが、故障ではありません。

雑音が入る。

- 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している→携帯電話などを本機から離して使用してください。

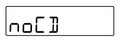
音が割れる、ひずむ。

- 音量が大きすぎる
  →音量を下げて適度な音量に調節してください。
  →CDにより録音されている音量に差があります。大きな音のCDは、音がひずまないように音量を調整してください。
- 乾電池が消耗している→乾電池が消耗していると音が割れることがあります。乾電池をすべて新しいものと交換してください。

CD

おもて面の「困ったときは」の「CD」の内容もあわせてご覧ください。

CDが入っているのに「noCD」が表示される。

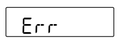


- 本機で再生できないディスクを入れた→本機で再生可能なディスクを入れてください。
- 読み取りに問題のあるCDを入れた→他のCDをお試しください。
- CDが裏返し→印刷面を上にしてください。

CDを入れたときに「00」が点滅する。

- 本機が対応する拡張子やフォーマットのファイルがひとつも記録されていないCDを入れた→他のCDをお試しください。

CDを入れたときに「Err」と表示される。



- CDの汚れがひどい→やわらかい布で、信号面を外周に向かって軽く拭いてください。
- CDに傷がある→他のCDをお試しください。
- DVDなど本機で再生できないディスクを入れた→本機で再生可能なディスクを入れてください。
- 読み取りに問題のあるCDを入れた→他のCDをお試しください。
- CD-R/CD-RWに何も記録されていない→他のCDをお試しください。

再生が始まらない。

- CDが裏返し→印刷面を上にしてください。
- CDの汚れがひどい→やわらかい布で、信号面を外周に向かって軽く拭いてください。
- レンズに露（水滴）がついている→CDを取り出して電源を切り、CDぶたを開けたまま1時間くらい置いてください。

- ファイナライズ処理（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）がされていないCD-R/CD-RWは再生できません。録音した機器でファイナライズを行ってください。
- CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。

CDの読み込み時に「キュルキュル」と音がする。

- 読み込み時の動作音です。故障ではありません。

音がとぶ。

- 音量を下げてください。
- CDの汚れがひどい→やわらかい布で、信号面を外周に向かって軽く拭いてください。
- 振動のない場所に置いてください。
- CDに傷があると、音がとんだり正常に再生されないことがあります。
- CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって、再生された音がとんだり、雑音が入ることがあります。

MP3ファイルやWMAファイルを再生できない。

- ファイル名の拡張子が間違っているか、付いていない。本機が対応する拡張子は、次のとおりです。
  - MP3ファイル：「.mp3」
  - WMAファイル：「.wma」
- オーディオファイルのフォーマットが適切でない。本機はMP3形式（MPEG 1 Audio Layer-3）とWMA形式以外のフォーマットには対応していません。

ラジオ

おもて面の「困ったときは」の「ラジオ」の内容もあわせてご覧ください。

FM放送の受信時にステレオにならない。

- 表示窓に「ST」と表示されるまでFMモードボタンを押して、FM放送の受信モードをステレオに切り換えてください。
- ステレオ放送のときのみステレオで聞くことができます。

雑音が入る。

- FMステレオ放送を受信しているときは、受信状態によっては雑音が多くなります。雑音が多いときは、表示窓に「mono」と表示されるまでFMモードボタンを押して、モノラル受信に切り換えてください。
- 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換してください。
- テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。

「お気に入りラジオ局」ボタンを押しても、登録した放送局が受信できない。

- 放送局を登録したあと「お気に入りラジオ局」ボタンを押したままにすると、受信中の放送局で上書き登録されます。

サポートページのご案内

ラジオ／ CDラジオ・ラジカセサポートのホームページでは、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

URL：
https://www.sony.jp/support/radio/

携帯電話やスマートフォンなどの二次元コード読み取り機能でご利用ください。